申請者用

「地域森林計画関係資料閲覧・交付申請書」の記載方法及び注意点

■注意点

必ず申請書様式に記載されている留意事項について了解のうえ、申請してください。

■申請書(第1号様式)の記載方法

1 管理者

管理者は、森林計画課長(第1管理者)、福島県〇〇農林事務所長・富岡林業指導所長(第2管理者)、〇〇市町村長(第3管理者)のいずれかに提出することになるので、明記してください。

2 申請者

申請者が団体の場合は、住所、会社・団体名、代表者名、担当者名、連絡先(電話番号)を明記してください。

申請者が個人の場合は、住所、氏名、連絡先を明記してください。

3 申請の種類

閲覧か交付の希望する区分を、○等で囲んでください。

4 利用目的

関係資料を利用目的について、明記してください。※資産等の評価目的の場合は、地域森林計画関係資料閲覧・交付承認書(第2号様式)の留意事項に注意してください。

5 申請簡所

申請する森林の所在(住所)について、地番まで記載してください。申請箇所が複数で記載しきれない場合は、別紙として一覧表により明記してください。

※ 関係資料の記載地番が、現地と相違する場合があります。

6 申請区分

必要な資料(森林簿又はその他の地域森林計画関係資料)の、□にチェック「✔」してください。

7 【森林簿】添付書類

様式に※1に記載のある、該当する添付書類を明記してください。

8 【共通】交付形態

希望する交付形態(印刷物による帳票又は図面・電子データ)について、○で囲んでください。 電子データでの交付となる場合は、未使用のCD-R、DVD-R又は保存媒体は申請者が準備してください。交付範囲が広い場合は、電子データでの取扱のみになる場合がありますので、担当者に相談願います。

9 【森林簿】所有者情報

森林簿の森林所有者名、住所の記載について、要・不要を○で囲んでください。 ※利用目的から、所有者情報は必要最小限としてください。

10 【その他の地域森林計画関係資料】資料の種類

申請する資料について、○で囲むか、その他の資料の名称について明記してください。

11 その他

郵送による交付を希望される場合は、切手を貼付し宛先を記載した返信用封筒又はレターパックを 添付してください。

第1号様式

地域森林計画関係資料閲覧·交付申請書 兼閲覧·交付承認簿

令和 年 月 日

(管理者) 様

申請者 住 所 会社・団体名等 △△△△株式会社 氏名(代表者名) 代表取締役 ○○○○ 担 当 者 名 □□□□ 電 話 番 号 ×××-×××

このことについて、下記の留意事項を承諾し、申請します。 記

申請の種類	閲覧・交付
利用目的	森林調査のため (森林法第5条の区域確認のため)
申 請 箇 所	福島市大字○○字□□1.2.3番地 (地番が多いときには、「別紙一覧表」としてください。)

☑ 森林簿

添付資料※1	森林所有者からの委任上、登記	簿謄本 (課税証明	書・通知書)の写し
交付形態※2	帳票(紙・PDFデータ)・データ	所有者情報※3	要・不要

☑ その他の地域森林計画関係資料

資料の種類	森林基本図	交付形態※2	帳票(紙・PDFデータ)
※4	その他(・データ

- ※1 次のうち、該当する添付書類を記入すること。
 - ① 森林所有者からの委任状 (申出書等)
 - ② 国または地方公共団体から業務の参考に供することを示す書類の提出があった場合
 - ③ 学校・大学等公的研究機関から学術的な目的での使用を示す書類
 - ④ 森林所有者の委任状に代わる書類あるいはその写し(森林経営計画作成に係る委任状、立木売 払契約書、造林事業請負契約書、森林経営の契約書、地上権設定契約書等)
 - ⑤ その他(書面等により管理者の承認を得たとき)
- ※2 電子データでの交付となる場合は、保存媒体は申請者が準備してください。
- ※3 個人情報(森林所有者名、森林所有者住所)が不要の場合は、「不要」としてください。 また、個人情報が必要な場合にあっても、申請目的から必要最小限としてください。
- ※4 交付サイズはA3版以下です。A0版は寄託先からの購入となります。
- ※5 郵送による交付を希望する場合は、返信先を記入した返信用封筒及びその送付に必要な切手等又はレターパックを提出してください。(国または地方公共団体を除く。)

留意事項

- (1)森林簿及び森林計画関係資料は、目測を主体とする現地調査及び空中写真の判読により作成したものであり、林況又は所有界は現地において実測及び確認を行っていないことから、所有権・所有界・面積等土地に関する諸権利及び立竹木の評価について証明するものではありません。
- (2) 交付した関係資料の使用に際し、以下に注意願います。
- ア 申請目的以外の使用をしないこと。
- イ 改ざん・複製しないこと。
- ウ 第三者へ提供しないこと。
- エ 利用目的完了後には焼却等により確実に処分すること。

(裏面へ)

管理者記入欄

2

3

る。

(裏面)		森林簿閲覧・交付審査表		
判定		審査項目		
	1	森林所有者本人である。		

の提出がある。

□ 4 学校・大学等研究機関等が学術的な目的での使用を示す書類の 提出がある。 □ 5 森林所有者の委任状に代わる資料あるいはその写しの提出があ

森林所有者から書面により委任されている。

国または地方公共団体から業務の参考に供することを示す書類

6	その他、書面等により管理者の承認を得たとき。

	以上のいずれかに該当する。
審査結果	

閲覧・交付申請のありましたこのことについて、別紙のとおり閲覧・交付決定してよろしいか伺います。

閲覧・交付決定・確認				
管理者	課員	担当	起案	
			決裁	
			施行	

※管理者記入欄

※閲覧・交付の際は、「地域森林計画関係資料閲覧・交付承認書」(第2号様式)により承認する。

参考様式

委 任 状

令和 年 月 日

代理人住所

代理人氏名

代理人連絡先

私は、上記の者を代理人と定め、下記の権限を委任いたします。

記

1 森林簿の閲覧・交付申請

令和 年 月 日

委任者住所

委任者氏名

(※本人の手書き(署名)又は記名押印)

委任者連絡先

参考様式

申 出 書

令和 年 月 日

法定相続人 住 所

氏 名

(※本人の手書き(署名)又は記名押印)

連絡先

私は、次の者の法定相続人であることを申し出ます。

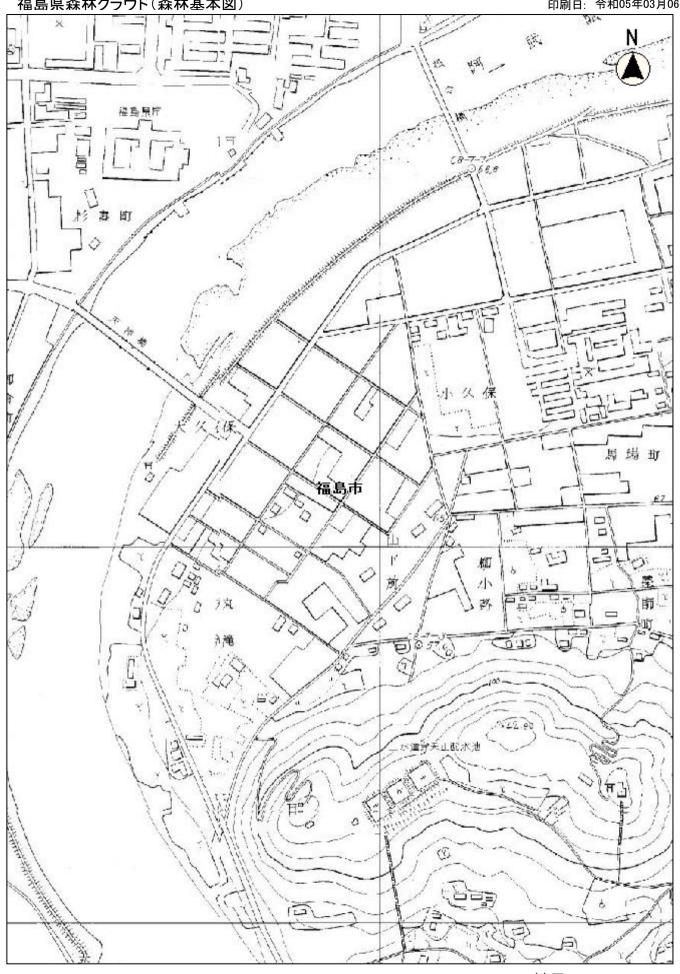
記

1 森林所有者 住所

氏名

2 本人との続柄

印刷日: 令和05年03月06日



縮尺 1:5000 100 30 0

【森林計画課用】

測量成果の利用申請フロー(どの申請に該当するか)

- 1. どのような目的で測量成果(森林基本図、森林計画図)を利用するか?
 - 私的に利用・一時的な資料やイラスト的に利用
 - ・学術論文、刊行物等(営利目的で刊行するものは除く)において、利用する場合

いいえはい

<u>第1号様式</u>による申請に 該当

(閲覧交付申請)

2. どのような加工をするか? (複製か使用か?)

複製に該当

- ・原図または紙地図をコピー・スキャン等で複製したものを基図として、 情報の削除若しくは独自情報の付加
- ・森林基本図データ行物をGISの背景図等に利用
- ・森林計画図データベック等をそのまま組み入れてGIS等を構築
- ・複製承認済みの成果品を複製する場合



第11号様式による申請 に該当

(複製承認申請)



使用に該当

- ・原図または紙地図を調整(トレース等)し直して、別種の地図を作成
- ・測量等によって得られたデータ等を付加し、独創性のある主題図(地質図、住宅地図等)を作成
- ・森林基本図データ(ラスタ)をベクタ変換後、調整して別種の地図を作成
- ・森林計画図データ(ベクタ)等を直接加工してGISに利用
- 使用承認済みの成果品の複製



第13号様式による申請 に該当

(使用承認申請)

その他の案件については、個別に判断



以上から、今回は 申請(第 号様式)に該当する。

※承認が適当かどうかは、次の測量成果の承認審査表で判断する。

○ 測量成果の承認審査と使用条件

第1 承認審査

測量成果を利用しようとする者が測量成果をそのまま 複製して営利目的で販売することがないと認められるか。 ※福島県地域森林計画関係資料事務取扱要領第14の4より

申請者名:

審查

よって、交付は 適当・不適当 である。

使用条件の確認		

→/. ¬¬ [BB	/ N H H I + A H I	
確認欄	(成果品持参時)	

第2 使用条件

使用承認の条件を全て満たすこと

- (1) 成果品には、福島県地域森林計画関係資料事務取扱要領 第14の5若しくは6の(1)に基づく語句を明示する。
- (2) 測量作業完了後、速やかに成果品を持参し当課の確認を受ける。また、成果品に対する当課からの修正指示に従う。
- (3) 承認を受けた事項を変更しようとする場合は、あらかじめ届け出て指示を受けること。

上記の条件に1つでも満たさない場合は承認できない。 ※福島県地域森林計画関係資料事務取扱要領第14の5及び6より

【森林計画課用】

測量成果の利用申請フロー (どの申請に該当するか)

- 1. どのような目的で測量成果(航空レーザ計測成果、航空写真)を利用するか?
 - ・私的に利用・一時的な資料やイラスト的に利用
 - ・学術論文、刊行物等(営利目的で刊行するものは除く)において、利用する場合

いいえ

第1号様式による申請に 該当

(閲覧交付申請)

2. どのような加工をするか? (複製か使用か?)

複製に該当

- ・原図または紙地図をコピー・スキャン等で複製したものを基図として、
- ・情報の削除若しくは独自情報の付加
- ・航空レーザ計測成果データラスタをCISの背景図等に利用
- ・航空データをそのまま組み入れてGIS等を構築
- ・複製承認済みの成果品を複製する場合

はい

第11号様式による申請 に該当

(複製承認申請)



使用に該当

- ・原図または紙地図を調整(トレース等)し直して、別種の地図を作成
- ・測量等によって得られたデータ等を付加し、独創性のある主題図(地質図、住宅地図等)を作成
- ・航空レーザ計測成果データ(ラスタ)をベクタ変換後、調整して別種の地図を作成
- ・航空写真データ(ベクタ)等を直接加工してGISに利用
- 使用承認済みの成果品の複製

いいえ

はい

第13号様式による申請 に該当

(使用承認申請)

その他の案件については、個別に判断



以上から、今回は申請(第号様式)に該当する。

※承認が適当かどうかは、次の測量成果の承認審査表で判断する。

○ 測量成果の承認審査と使用条件

申請者名:

第1 承認審査

測量成果を利用しようとする者が測量成果をそのまま 複製して営利目的で販売することがないと認められるか。 ※福島県地域森林計画関係資料事務取扱要領第14の4より

第2 使用条件

使用承認の条件を全て満たすこと

- (1) 成果品には、福島県地域森林計画関係資料事務取扱要領 第14の5若しくは6の(1)に基づく語句を明示する。
- (2) 測量作業完了後、速やかに成果品を持参し当課の確認を 受ける。また、成果品に対する当課からの修正指示に従
- (3) 承認を受けた事項を変更しようとする場合は、あらかじ め届け出て指示を受けること。

上記の条件に1つでも満たさない場合は承認できない。 ※福島県地域森林計画関係資料事務取扱要領第14の5及び6より

番	査	

よって、交付は 適当・不適当 である。

確認欄	(成果品持参時)

記載例 (森林計画課用) 第11号様式

· •			
	測量成果	の複製承認申請書	
測量法第	測量法第43条の規定により下記のとおり承認申請いたします。		
令和	年 月 日		
福島県	県知事 様	住 所 申請者 TEL 氏 名	
複製の目的		株朴G13 株朴柱 百日 四十八人 及	
複製する測量成果の種類及び内容		森林基本図 □□市、森林計画図 □□市	
複製する測量成果の交付年月日又は地図の発行年次		最新版のもの	
複製の筆	色囲又は区域	□□市全域	
複製の作業方法		別紙のとおり (※ 測量成果をそのまま複製して営利目的で販売 することがありません。)	
複製の期間		承認日~令和 年 月 日	
複製品の利用方法及び配布の有無 配布の範囲 有償・無償		別紙のとおり	
複製品の部数		ハードディスク1部、バックアップ用DVD1枚	
複製	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ	
機関名	所在地	申請者に同じ	
複製	名称及び代表者の氏名	(株)○○システム開発 代表取締役 □□□□	
作 業機関名	所在地	福島市〇〇〇〇1-2	
担当者		太郎 電話 024-○○○-○○○ 情報部 福島次郎 電話 024-○○○-○○○	

利用方法 (複製の作業方法・利用方法及び配布の範囲)

1 使用目的

森林情報を一元的に管理、その現況を的確・迅速に集計、分析するべく森林資源情報のデジタル化、データベース化をはかることにより、各種の森林業務の効率化を目指すことを目的とする。

2 システムの概要

「森林経営計画作成支援システム」とは、汎用型GISソフトをエンジンとして使用し、カスタマイズにより機能追加を行ったシステムである。

現地測量成果を取込み、独自の組合現況データとして管理可能となる。 システムの基本機能は下記のとおり。

機能	機能概要
地図表示機能	地図の任意拡大・縮小・異動。任意レイヤの表示・非表示機能
情報閲覧機能	森林簿など、その他情報の検索・閲覧機能
印刷機能	任意の地図項目を任意のエリア、縮尺で印刷する機能
業務支援機能	施業履歴・国営保険管理・経営計画支援機能など

3 複製の作業方法

○作成工程

【森林基本図】

縮尺1/5,000で表示する際の背景図用データとして用いる

- (1) 基本図データを抽出する。
- (2) GISソフト○○○で利用するために、ファイル形式を○○○形式に変換する。
- (3) 専用端末(スタンドアロン)に保存する。バックアップ用にDVDに1部保存する。

【森林計画図】

- (1) 計画図データを抽出する。
- (2) GISソフト○○○で利用するために、ファイル形式を○○○形式に変換する。
- (3) GISソフト○○○により抽出したデータを独自に定めた仕様に基づき編集する。
- (4) レイヤ情報・凡例などを設定する。
- (5) 専用端末(スタンドアロン)に保存する。バックアップ用にDVDに1部保存する。

○独自に付加するデータの有無・内容

森林基本図・森林計画図を背景として下記レイヤを独自に作成して付加する。

- (1) 施業履歴レイヤ (ポリゴン)
- (2) 国営保険管理データ (データベース)
- (3)組合員森林現況レイヤ (ポリゴン)
- (4) 市町村界レイヤ (ライン)

(1)システムの表示画面で背景図として閲覧する。(2)システムからのプリントアウト時に背景図として印刷する。
○記録媒体の種類 ※バックアップは除く 専用端末(スタンドアロン)のハードディスクに格納する。
○プリントアウトする場合の配布対象職員のみ。
○ネットワーク化の有無 ネットワークでは利用しない。
(サンプル図添付)

○完成品の出力方法

記載例 (森林計画課用) 第11号様式

	測量成果	の複製承認申請書
測量法第	ら43条の規定により下記 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	りとおり承認申請いたします。
令和	年 月 日	
		住 所 申請者 TEL 氏 名
福島県	具知事 様	
複製の目的		森林経営計画作成及び各森林施業委託に関する資料 作成のため
複製する測量成果の種類及び内容		森林基本図 □□市、森林計画図 □□市、航空レ ーザ計測成果 □□市、、航空写真 □□市
複製する測量成果の交付年月日又 は地図の発行年次		最新版のもの
複製の範囲又は区域		□□市全域
複製の作業方法		別紙のとおり (※ 測量成果をそのまま複製して営利目的で販売 することがありません。)
複製の期	月間	承認日~令和 年 月 日
複製品の利用方法及び配布の有無 配布の範囲 有償・無償		別紙のとおり
複製品の部数		ハードディスク1部
複製	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ
機関名	所在地	申請者に同じ
複 製 作 業	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ
機関名	所在地	申請者に同じ
担当者	○○○○株式会社 ○○	○課 計画太郎 電話 024-○○○-○○○○

利用方法(複製の作業方法・利用方法及び配布の範囲)

1 使用目的

森林情報を一元的に管理、その現況を的確・迅速に集計、分析するべく森林資源のデジタル化、データベース化をはかることにより、森林調査等に対応することを目的とする。

2 システムの概要

汎用型GISソフト(QGIS)に測量成果を取り込んで、閲覧等を行う。

- 3 複製の作業方法
 - ○作成工程

【森林基本図】

データをQGISに読み込んで、背景図用データとして用いる。

【森林計画図】

森林簿データと属性結合して、QGISに読み込んで、森林情報データとして用いる。

【航空レーザ計測成果(ラスタデータ)】

データをQGISに読み込んで、背景図用データとして用いる。

【航空レーザ計測成果 (ベクタデータ)】

QGISに読み込んで、森林情報データとして用いる。

【航空写真】

データをQGISに読み込んで、背景図用データとして用いる。

○独自に付加するデータの内容

森林基本図等を背景として、施業履歴レイヤ(ポリゴン)や森林調査レイヤ(ポリゴン)を作成して付加する。

○完成品の出力方法

プリントアウト時に背景図として印刷をする。

○記録媒体の種類

端末のハードディスクに格納する。

- ○プリントアウトする場合の配布対象
 - 森林所有者及び県・市町村委託等成果品として提出。
- ○ネットワーク化の有無

ネットワークでは利用しない。

(サンプル図添付)

記載例 (森林計画課用)

第13号様式

測量成果の使用承認申請書

測量法第44条の規定により下記のとおり承認申請いたします。

令和 年 月 日

住 所 申請者 TEL 氏 名

福島県知事様

使用の目的又は当該測量の種別		森林GIS「森林経営計画作成支援」のため
測量地域		□□市全域
使用期間		承認日~令和 年 月 日
使用する測量成果の種類及び内容		森林基本図 □□市、森林計画図 □□市
測量精度		特に高度な精度を要しない
使用方法		別紙のとおり (※ 測量成果をそのまま複製して営利目的で販売 することがありません。)
完成図の縮尺及び名称		名称:森林経営計画作成支援システム 縮尺:任意で切り替えが可能
測量	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ
計 画機関名	所在地	申請者に同じ
測量	名称及び代表者の氏名	(株)○○システム開発 代表取締役 □□□□
作 業機関名	所在地	福島市○○○○1-2
担当者		大郎 電話 024-000-000 情報部 福島次郎 電話 024-000-000

利用方法 (複製の作業方法・利用方法及び配布の範囲)

1 使用目的

森林情報を一元的に管理、その現況を的確・迅速に集計、分析するべく森林資源情報のデジタル化、データベース化をはかることにより、各種の森林業務の効率化を目指すことを目的とする。

2 システムの概要

「森林経営計画作成支援システム」とは、汎用型GISソフトをエンジンとして使用し、カスタマイズにより機能追加を行ったシステムである。

現地測量成果を取込み、独自の組合現況データとして管理可能となる。 システムの基本機能は下記のとおり。

機能	機能概要
地図表示機能	地図の任意拡大・縮小・異動。任意レイヤの表示・非表示機能
情報閲覧機能	森林簿など、その他情報の検索・閲覧機能
印刷機能	任意の地図項目を任意のエリア、縮尺で印刷する機能
業務支援機能	施業履歴・国営保険管理・経営計画支援機能など

3 使用の作業方法

○作成工程

【森林基本図】

縮尺1/5,000で表示する際の背景図用データとして用いる

- (1) 基本図データを抽出する。
- (2) 3 D画像作成ソフト○○○で陰影断彩図を作成する。
- (3) 専用端末(スタンドアロン)に保存する。バックアップ用にDVDに1部保存する。

【森林計画図】

- (1) 計画図データを抽出する。
- (2) GISソフト○○○で利用するために、ファイル形式を○○○形式に変換する。
- (3) GISソフト○○○により抽出したデータを独自に定めた仕様に基づき編集する。
- (4) レイヤ情報・凡例などを設定する。
- (5) 専用端末(スタンドアロン)に保存する。バックアップ用にDVDに1部保存する。

○独自に付加するデータの有無・内容

森林基本図・森林計画図を背景として下記レイヤを独自に作成して付加する。

- (1) 施業履歴レイヤ (ポリゴン)
- (2) 国営保険管理データ (データベース)
- (3)組合員森林現況レイヤ (ポリゴン)
- (4) 市町村界レイヤ (ライン)

○完成品の出力方法
画面上に画像として表示する。
○記録媒体の種類 ※バックアップは除く
専用端末(スタンドアロン)のハードディスクに格納する。
○プリントアウトする場合の配布対象
職員のみ。
○ネットワーク化の有無
ネットワークでは利用しない。
(サンプル図添付)

記載例 (森林計画課用)

第13号様式

測量成果の使用承認申請書

測量法第44条の規定により下記のとおり承認申請いたします。

令和 年 月 日

住 所 申請者 TEL 氏 名

福島県知事様

使用の目的又は当該測量の種別		作業道の位置、延長、勾配を把握するため
測量地域		□□市全域
使用期間		承認日~令和 年 月 日
使用する測量成果の種類及び内容		航空レーザ計測成果の○○○、□□市
測量精度		特に高度な精度を要しない
使用方法		別紙のとおり (※ 測量成果をそのまま複製して営利目的で販売 することがありません。)
完成図の縮尺及び名称		名称:作業道計画を示した平面線形図 縮尺:1/2,000程度
測量計画	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ
計 画機関名	所在地	申請者に同じ
測 作 業 機関名	名称及び代表者の氏名	申請者に同じ
	所在地	申請者に同じ
担当者	○○○○株式会社	○課 計画太郎 電話 024-○○○-○○○○

利用方法(複製の作業方法・利用方法及び配布の範囲)

- 1 使用目的
 - □□市の作業道の位置を判読により把握する。

これをトレースして、端点の座標を○○○から取得します。この端点座標が分かれば、 2点間の距離と比高が把握でき、測量データのようなものが作成できます。

このデータをもとに、作業道の位置、延長、勾配を把握し、計画の基礎資料を作成します。

- 2 使用方法
 - ○作成工程

(2

【航空レーザ計測成果】

(1) 航空レーザ計測成果OOOデータを読み取る。

	イメージ図
)	測量データの作成

- ○完成品の出力方法 画面上に画像として表示する。
- ○記録媒体の種類 専用端末のハードディスクに格納する。
- ○プリントアウトする場合の配布対象 職員のみ。
- ○ネットワーク化の有無 ネットワークでは利用しない。